

長期化・激化なら 貧困国民の9割

【ワシントン＝島田峰隆】国連開発計画（UNDP）は18日、ロシアが侵略しているウクライナの人道状況の見通しについて報告書を発表しました。侵略が激化、長期化すれば、最悪の場合は今後12カ月で、最大で約9割のウクライナ国民が貧困状態に陥ると警告しています。

ウクライナ侵略



国連機関警告

報告書が示した最も悲観的な予測では、国民の約28％が1日5・50ユーロ（約650円）未満で生活することになります。ロシアに対する侵略がなかった場合の約14倍の高さです。1日5・50～13ユーロ（約1540円）で暮らす国民は全体の約62・5％を上回るものになります。

報告書は最も悲観的

攻撃を受け燃える住居の跡に立つウクライナ人の女性（15日、キエフ）（AP通信）

な予測について「この見通しはウクライナでの過去18年間の社会的、経済的な到達点を失わせるものになる」と強調しました。

報告書は、ウクライナ政府の試算として、建物、橋、道路、病院、学校など破壊されたインフラの価値は少なくとも1000億ユーロ（約11兆9000億円）に相当すると指摘。全国の商店や事務所などの半分が完全に営業停止

に追い込まれ、残り半分も本来の能力を大幅に下回る形での営業を余儀なくされている。UNDPのシュタイナー総裁は「ウクライナでの戦争は想像を絶する苦しみを引き起こし、人命が奪われ、無数の人々が避難している」「経済の衰退と、それが国民にもたらす苦しみや困難にいつぞう焦点を当てねばならない」と述べました。